

Information

長崎大学 新学部 多文化社会学部 2014年4月開設

長崎大学は多文化社会学部を新設し、多文化の共生と協働が求められる現代世界において、政治・経済、文化、社会活動分野等で存在感をもって国際的に活躍できる人文社会系グローバル人材を、従来にない斬新かつ特色ある教育を通して先駆的に育成します。

多文化社会学部は、人文社会系学部の学士課程教育における専門性を担保しつつ、上記のグローバル人材の基盤的資質としての語学力・コミュニケーション能力とジェネリックスキルの涵養に重点的に取り組みます。すなわち、人文社会系諸分野を「多文化社会」の観点から再編・統合した学際性(interdisciplinarity)に富むカリキュラムによって、政治、法律、経済、経営等の社会科学系の知識と考え方と、世界の各地域の多様な社会、文化、歴史、宗教を理解できる人文学系の知識と考え方を併せ持つ人材を育成します。さらに、フィールド調査や言語的・文化的背景を異にする人々との国際的プロジェクト等への参画を通して、マネジメント能力も涵養します。

<http://www.hss.nagasaki-u.ac.jp/>



» メールマガジン CHODAIメール

長崎大学のホットな情報をより多くの人にお伝えするため、平成24年6月1日よりメールマガジンの配信を開始しました。このメルマガは毎月1日、最新のニュース、イベント、学術情報等を配信しています。同窓生の皆様をはじめとする多くの長崎大学の応援団の方々に大学の情報を知って頂くツールとして多くの方にご利用頂きたいと思っております。ぜひ、ご登録下さい!登録は下記のURLまたは右のQRコードからお願いします。

<http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/mailmagazine/>



» Facebookで長崎大学

平成24年11月に長崎大学のFacebookページを開設しました!その名も【長崎大学】地球キャンパスに集う人たちです。地球キャンパスとは、研究の対象となるものさえあればどこでもキャンパスになる、まさに地球全体がキャンパスであるという考えのことで、長崎大学のことを表しています。長崎大学では世界各地に活動の場を広げ、またその地域に根ざした教育・研究・社会貢献活動を展開しています。そういう活動や活動を行っている人物をこのFacebookページで紹介しています。ぜひ、「【長崎大学】地球キャンパスに集う人たち」の「いいね!」を押して、世界中で活躍する長崎大学ゆかりの人たちのことを知って下さい。

<https://www.facebook.com/nagasaki.univ>



» 長崎大学東京事務所が移転します。

これまで、東京都千代田区九段北1-9-17寺島文庫2階にありました東京事務所が下記住所に移転します。平成26年4月1日から新事務所にて業務を行う予定にしております。これからも皆様が利用しやすい東京事務所を目指してまいりますので、何卒よろしくお願ひいたします。

- 移転先 / 〒105-0003 東京都港区西新橋1-18-6 クロスオフィス内幸町5階 503号室
- 交通アクセス / ◎内幸町駅から徒歩2分(都営三田線A3出口) ◎虎の門駅から徒歩5分(東京メトロ銀座線1番出口)
- ◎新橋駅から徒歩6分(JR山手線/京浜東北線/東海道本線/横須賀・総武快速線/東京メトロ銀座線/都営浅草線日比谷口)
- ◎霞ヶ関駅から徒歩7分(東京メトロ丸の内線/千代田線/日比谷線C3出口)
- 連絡先 / TEL.03-6257-1940 FAX.03-6257-1783 E-mail / kouhou@ml.nagasaki-u.ac.jp

<http://www.nagasaki-u-tokyo.jp>

全学同窓会のホームページは「長崎大学ホームページ」→「長崎大学について」又は「卒業生の皆様へ」からご覧いただくことができます。

[編集・発行] 長崎大学広報戦略本部全学同窓会支援室 TEL.095-819-2154 FAX.095-819-2156

E-mail / kouhou@ml.nagasaki-u.ac.jp URL / <http://www.nagasaki-u.ac.jp/>

DOSO

長崎大学全学同窓会



第5回長崎大学 ホームカミングデー開催!

にバッティング等、プロでの経験や練習方法などの直接指導があり、学生たちも質問を浴びせるなど感激していました。

講演終了後、本学のチアリーディング部、落語研究会、よさこい部「突風」が演技を披露いたしました。

また、講演前には硬式野球部と軟式野球部の学生たち

館食堂2階で開催、長崎医学同窓会の朝長 万左男会長の開会挨拶と乾杯で始まり、はもねびあの演奏、続いて来年は50周年を迎える軽音楽部の演奏を聴きながら歓談いたしました。

歓談中に中部講堂で演技を終えたよさこい部「突風」のメンバーが駆けつけて、同窓生先輩たちにビールを注

ぐなどして交流、親睦を深めました。

閉会の挨拶は長崎大学玉園同窓会の濱崎 嘉一郎事務局長の挨拶と万歳三唱で幕を閉じました。



ホームカミングデー・パーティーの様子



講演する田尾安志さん



田尾安志さんから直接指導を受ける硬式、軟式の野球部員たち



ホームカミングデーに参加した学生サークルから一言



ロマンツアーコンサート

大勢の先輩方の前で演奏させていただくということで緊張しましたが、このような機会を頂けたことを大変光栄に思っております。

今回は、アカペラの演奏形態で長崎大学学歌を含む5曲を演奏させていただきました。演奏中、私たちと一緒に口ずさんでいる方や笑顔で聴いている方の姿を目にして、「私たちと先輩方が一体となっている」と感じることができました。これは音楽の最大の魅力であり、最も大切なことだと考えております。

これからも音楽を通して聴いている方に、笑顔や元気をお届けできるよう活動していきます。そしてより多くの方々に音楽の素晴らしさを伝えていきたいです。このような貴重な機会を与えてくださり本当にありがとうございました。

部長 増井加奈美(環境科学部3年)



チアリーディング部

Berries

私たちは現在、1年生4人、2年生8人、3年生5人の計17人で週3回の活動を行っています。

学年に関係なく仲が良く、やる気と笑顔が絶えないことが私たちの自慢です。

練習は主に、筋トレなどの基礎メニューに加え、ダンスやスタンツといった組体操のような技などを取り入れて行っています。大きな技は高さもあり、危険度も増えますが、お互いを信頼し、支え合いながらひとつずつ演技を作り上げることで、個々が多くのこと学び成長しています。

出演依頼も年々増え、大学祭をはじめとして、Vファーレン長崎のホーム試合での演技、住吉くんなど地域のイベントにも多く参加させていただいている。これからも、仲良く、勇気・元気・笑顔をモットーに活動していきたいと思っています。

部長 山内美郷(教育学部3年)



落語研究会

今回、初めてホームカミングデーに落語研究会が出させてもらうということで演者も緊張していましたが、先輩方の温かい笑いで無事最後まで終えることが出来ました。

落語研究会は年2回、NBCホールで『やわた寄席』をさせてもらっており、また、各地に赴いて落語を披露する『出張落語』というのもやらせてもらっているのですが、実は学内で皆さん前で落語をするというのは今回が初めてだったのでそういう意味での不安もありました。

『落語』というと大人が見るものというようなイメージがあります。しかし、漫才やコントと表現方法が違うだけで目的は同じ『笑ってもらう』ということなのだと思います。

これからも我々、落語研究会は一層活動の方に力を入れていきますので是非寄席に足を運んで沢山笑って欲しいと思います。

部長 佐々木竜一(工学部3年)



よさこい部「突風」

多くの先輩方、先生方の前で自分たちの舞を披露することに緊張しましたが、たくさんのご声援をいただき、楽しく、全力で踊ることができました。また、演舞後には多くの先輩方とお話をできたり、参加されたサークル団体の発表を間近で見れたこと、とても印象に残っています。このように大変貴重な時間を過ごすことができ、とても感謝しております。

私たちよさこい部「突風」は主に様々なお祭り、イベントに参加したり、地域の学校や施設などでよさこいの演舞、指導をさせてもらっています。

これからも仲間たちと共に毎日を充実したものにできるよう、長崎大学の学生として、多くの活動に励んでいきたいと思います。

今後も、一つ一つ大切にして、活動して参りますので、お見かけの際は、暖かいご支援を頂きますよう、よろしくお願いします。

代表 寺坂優太(経済学部2年)



はもねぴあ

多くの先輩方の前で演奏させて頂いたことを大変嬉しく思っています。美しいハーモニーをお楽しみ頂けたでしょうか。私たち“長崎大学アカペラサークルはもねぴあ”は、4年前に創設され、それから地域に密着し、イベントやお祭りを通して、地域との交流を大事にして活動をして参りました。

今回、その活動の一部を先輩方に見て頂けたことは本当に有難い貴重な機会でした。私たちはこれからも“アカペラ”を通して、美しいハーモニー、元気、若さなど、私たちらしさを活かした活動して参ります。

今後も、一つ一つ大切にして、活動して参りますので、お見かけの際は、暖かいご支援を頂きますよう、よろしくお願いします。

部長 立花勇治(教育学部2年)



軽音楽部

SwingBoatJazzOrch.

今回は、OB・OGの先輩方の前で演奏をする機会を頂き、ありがとうございました。

当日は古き良きジャズという枠に留まらず、多くの方に聴きやすい曲目を目指して演奏させて頂きました。中でも最後に演奏した「ORANGE EXPRESS」では、ボンゴやギロなどのパーカッション隊も入り、ラテンのリズムを感じて頂けたのではないでしょうか。

演奏後は温かい拍手と笑顔を頂き、楽しくも厳しい練習を重ねてきた日々が報われたように思いました。この思いを胸に、私達の代最後の演奏となります定期演奏会まで頑張っていきたいと思います。

平成26年度で私達、Swing Boat Jazz Orchestraは50周年を迎え、現在記念イベントを企画しています。これからも地域に愛されるサークルを目指し、様々な機会で良い演奏が出来るよう精進して参ります。

部長 小山内宏徳(工学部3年)

各学部等同窓会紹介

鶴水会

長崎大学水産学部は、昭和24年5月、長崎青年師範学校水産科を母体として、漁業、水産製造及び水産増殖の3学科で発足。28年3月、第1期生の卒業で同窓会が発足。学部は25年5月、大村市から佐世保市に移転。36年9月に長崎市の現在地に移転の際、同窓会は卒業生の運営となった。名称は鶴の港(長崎港)と水産学部に因み「鶴水会」と命名され、今年度末で満62年となる。鶴水会は全国に17支部、会員数は5,600名余に達する。活動は本部総会が2年毎、会報の「鶴友」は年2回、名簿は4年毎に発行している。

練習船は、昭和27年、初代長崎丸103トンが竣工後、39年に第2代、61年に現在の第3代(842トン)が竣工。また50年、鶴洋丸(1044トン)の新造があった。小型実習船の鶴水も存在したが、平成16年、第2代鶴洋丸(155トン)が竣工し、現在2隻が稼動中。水産実験所は昭和36年、野母の地から発足し、平成11年、新長

崎漁港の三重地区に移転。名称等の変遷を経て、附属環シナ海環境資源研究センターとなった。また大学院研究科は、昭和45年、水産学研究科(修士課程)が3専攻で設置され、その後、昭和63年、大学院海洋生産科学研究科(後期3年博士課程)が設置。改組を経て、平成23年、大学院水産・環境科学総合研究科(後期3年、5年一貫)となっている。同窓会の記念集会は、創立30周年、50周年に開催し、8年後に70周年となる。



平成19年度、耐震補強工事を完了した水産学部新館及び新々館

熱研同門会

に長崎医科大学付属東亜風土病研究所として開設され、昭和42年(1967年)長崎大学附置熱帯医学研究所となり日本における唯一の熱帯医学研究を目的とする公的機関として活動しています。森田公一所長によると、本研究所は平成元年(1989年)に全国共同利用研究所となり平成5年(1993年)にはWHO協力センターに、平成7年(1995年)には文部省から熱帯医学に関する国際的に卓越した研究拠点の指定を受けています。さらに平成21年(2009年)には全国共同利用「熱帯医学研究拠点」の認定を受け全国の研究者に開かれた研究所としてその活動を強化しております。

熱研同門会は過去にこの研究所に在籍した者および現在在籍中の研究者、留学生などを中心に約230名で構成され、

長崎大学熱帯医学研究所は昭和17年(1942年)

会員相互の親睦を図るとともに研究者へ側面からの援助を行っています。すでに第42号となる同門会誌では総会の報告、新教官の紹介、国内外の研究環境の紹介、会員の近況報告、熱研写真コンクール受賞作品の紹介、などを行っています。同門会主催の熱研OBによる講演会が年に1,2回開催されていることや若手研究者への研究補助金の贈呈なども特記すべきことでしょう。今後も同門会役員を中心としてその活動が活発になるように期待しております。

同門会誌

創刊号



1972

長崎大学熱帯医学研究所

同門会誌創刊号